

授業科目	司法福祉論				単位	2		
履 修	選択	関連資格	社会福祉士		ナンバリング	WE31217J		
開講年次	4年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2			
担当教員	木村 茂喜							
授業概要	<p>犯罪をした者や非行少年が再び立ち直るには、厳しい道のりが待っている。彼らが、社会の一員として受け入れられるためには、本人の努力に加えて、彼らが社会で自立して生活するための支援システムが不可欠であり、この支援システムにおける福祉専門職の果たす役割は近年において重要度が大きく増している。加えて、近年では、犯罪をした高齢者・障害のある者を福祉的支援へとつなぐ体制が少しずつ整備されてきている。</p> <p>本講では、司法福祉の中核の一つである、更生保護制度の概要と関係諸機関の連携・協働を中心に学習するが、更生保護制度と密接に関連する刑事司法手続・少年保護手続、医療観察制度のほか、少年法改正など、司法福祉全体を取り巻く現状と課題についても学習する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 更生保護の対象者も社会の一員である、ということ を正しく認識できる。(DP1-2,2-1) 2. 更生保護制度の概要について説明できる。(DP1-2) 3. 更生保護制度における関係機関の連携・協働について説明できる。(DP1-2,2-1,3-2) 4. 更生保護・司法福祉の現状と課題について認識し、考察できる。(DP3-2) 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	80						80	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10						10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)	10						10	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> ・更生保護の対象者も社会の一員である、ということ を正しく認識できる。 ・更生保護制度の概要について正確に説明できる。 ・更生保護制度における関係機関の連携・協働について正確に説明できる。 ・更生保護・司法福祉の現状と課題について認識し、犯罪をした者・非行少年に対する支援のあり方について考察できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・更生保護の対象者も社会の一員である、ということ を正しく認識できる。 ・更生保護制度の概要についてある程度正確に説明できる。 ・更生保護制度における関係機関の連携・協働についてある程度説明できる。 ・更生保護・司法福祉の現状と課題について認識できる。 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	テーマ:イントロダクション 講義の進め方、司法福祉を学ぶ意義について説明する。	講義	復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	15
2	テーマ:司法福祉の意義 司法福祉の意義、司法福祉の歴史的発展、刑事司法における更生保護について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	30
3	テーマ:刑事司法手続の概要 逮捕から刑の執行に至るまでの刑事司法手続の概要について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	30
4	テーマ:少年保護手続の概要 対象となる少年の発見から終局決定に至るまでの少年保護手続の概要について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	30
5	テーマ:更生保護制度(1)仮釈放等・生活環境の調整 更生保護の目的、仮釈放等、生活環境の調整について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	30
6	テーマ:更生保護制度(2)保護観察 保護観察の実施主体・対象者、保護観察の実施方法について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	30
7	テーマ:更生保護制度(3)更生緊急保護・恩赦 更生緊急保護の対象者・実施内容、恩赦の種類と方法について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	30
8	テーマ:更生保護制度(4)犯罪予防活動 更生保護施設 犯罪予防活動の概要、更生保護事業を担う更生保護施設の概要や処遇の基準について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	30
9	テーマ:犯罪被害者等に対する施策 意見等の聴取制度など、更生保護における犯罪被害者等に対する施策について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	30
10	テーマ:医療観察制度の概要 医療観察制度の目的、社会復帰調整官の職務など、医療観察制度について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	30
11	テーマ:関係機関・団体との連携 裁判所などの刑事司法機関や、地域内のさまざまな団体・機関との連携について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	30
12	テーマ:更生保護制度の担い手(1)保護観察官(外部講師) 更生保護制度の中核を担う保護観察官の職務について解説する。	外部講師による講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	30
13	テーマ:更生保護制度の担い手(2)保護司(外部講師) 更生保護制度の中核を担う保護司の身分、役割について解説する。	外部講師による講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジユメの見直し	30
14	テーマ:更生保護の実態(外部講師) 更生保護の現状について解説する。	外部講師による講義	復習:レジユメの見直し	15

15	テーマ:これからの司法福祉 更生保護・司法福祉をめぐる近年の動向、今後の課題について解説する。	講義(ビデオ鑑賞の可能性あり)	復習:今までの講義内容の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	法学概論(1年前期)を履修していることが望ましい(履修していなくても受講は可能)。			
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 更生保護制度(第4版)』(中央法規出版) そのほか、毎回の講義時にレジュメを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法 2019[平成31年版]』(ミネルヴァ書房) そのほか、第1回目の講義時に、講義を理解する上で参考となる諸文献を挙げる。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義終了時に次回の講義で扱う教科書の範囲を示すので、次回の講義までに各自目を通しておくことが望ましい。また、講義後には各自でその日の講義内容について復習しておくこと。			
達成度評価に関するコメント	試験の詳細については、講義内で説明する。			